記者発表資料

平成２５年　７月２９日
東 北 地 方 整 備 局

入札監視委員会第二部会第１回定例会議（　７月１６日）の審議概要について

～抽出案件６件を審議、意見の具申・勧告はなし～

平成２５年度東北地方整備局入札監視委員会第二部会第１回定例会議が、７月１６日（火）、東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要（別紙）についてお知らせします。

議事では、委員により抽出された案件６件の審議が行われ、委員からの意見の具申・勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先

国土交通省　東北地方整備局
仙台市青葉区花京院一丁目１番２０号　TEL (022)716-0013（ダイヤルイン）

契 約 管 理 官　佐藤（さとう）　豊（ゆたか）（内線６２２１）

経理調達課課長補佐　佐藤（さとう）　浩正（ひろまさ）（内線６５５４）

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）定例会議審議概要

開催日及び場所	平成２５年　７月１６日（火）　東北地方整備局会議室		
委員	部会長　貝山　道博　（埼玉大学　名誉教授） 部会長代理　齊藤　幸治　（弁護士） 委　員　高橋　敏彦　（東北工業大学工学部教授）		
審議対象期間	平成２５年　１月　１日～平成２５年　３月３１日		
総審議案件	６件	〈備考〉 （１）工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 （２）指名停止措置の運用状況 （３）談合情報等の対応状況及び談合疑義事実の該当事案 （４）再度入札における一位不動状況 （５）低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について報告を行った。	
工事 一般競争（WTO対象）	１件		
工事 一般競争（WTO対象外）	３件		
工事 工事希望型競争	０件		
工事 工事希望型以外の指名競争入札	０件		
工事 随意契約	０件		
建設コンサルタント業務等	１件		
役務の提供等及び物品の製造等	１件		
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回　答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	本日の審議結果について、意見の具申又は勧告事項はありません。		

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）定例会議審議概要

審　議　案　件　　工　事　概　要　書

	入札・契約方式	工　事　名	工事種別	契約金額 （単位：千円）	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数
1	一般競争 （ＷＴＯ対象）	八戸港八太郎・河原木地区航路泊地(埋没)浚渫工事	港湾等しゅんせつ工事	745,500	5者	4者
2	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	大船渡港湾口地区防波堤(災害復旧)築造工事(その３)	港湾土木工事	324,660	10者	10者
3	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	仙台塩釜港仙台港区外港地区沖防波堤（災害復旧）消波外工事	港湾土木工事	59,325	2者	2者
4	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	石巻港雲雀野地区防波堤（南）（災害復旧）消波外工事	港湾土木工事	191,100	4者	4者

審議案件　建設コンサルタント業務等概要書

	入札・契約方式	業　務　名	業務区分	契約金額 （単位：千円）	手続きへの参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数
5	簡易公募型競争	相馬港水路測量	測量・調査	7,350	2者	2者

審議案件　役務の提供等及び物品の製造等概要書

	入札・契約方式	業　務　名	業務分類	契約金額 （単位：千円）	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数
6	一般競争	久慈港みずなぎ修理工事	役務の提供等	9,807	3者	3者

別　紙

NO. 1

	意見・質問	回　　答
1-1	定例報告 「対象期間における発注案件について」 ・ 特になし	
1-2	定例報告 「指名停止措置の運用状況」 ・特になし	
1-3	定例報告 「談合情報等の対応状況及び談合疑義事実の該当事案」 ・特になし	
1-4	定例報告 「工事種別ごとの再度入札における一位不動状況」 ・特になし	
1-5	定例報告 「工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況」 ・特になし	
2-1	審議 「八戸港八太郎・河原木地区航路泊地(埋没)浚渫工事」 ・競争参加資格要件として求めている施工実績の純土量に端数が付いているのは何故か。 ・一定割合を乗じたものを施工実績とすることは、一般的なことなのか。 ・競争参加資格要件としている客観点数は、公表されているのか。 ・客観点数も、総合評価落札方式の落札の要素となるのか。 ・技術資料の提出が可能な対象業者数は業者側で知ることはできるのか。 ・対象業者数を調べるデータベースは国交省発注のものをデータベース化しているということか。 ・そのデータベースは、業者でも見ることが出来るのか。 ・そのデータベースを使わなくとも、ある程度は業者側で分かるものなのか。	・仕様書記載の浚渫土量に二分の一等の一定割合を乗じて算出された数値であり、その計算の結果、端数が生じたものです。 ・一定割合を乗じたものとすることにより、参加要件が緩和されるものであり、一般的なことと理解しております。 ・インターネット等で公表しています。 ・なりません。客観点数は競争参加資格要件であり、総合評価落札方式の評価の対象ではありません。 ・できません。 ・はい。 ・はい。ただし、他者のものは見ることは出来ません。 ・公共工事は、入札公告・入札結果がその都度、公表されることから、その情報を蓄積していれば、分かるものです。

	意見・質問	回　　答
	・一番高い入札価格の業者が落札しているのは、評価点が高かったからですが、何が素晴らしかったのか。	・汚水処理に関する工夫が高く評価されたものです。
	・そういったことは、発注側が仕様書で指示すべきことではないのか。	・仕様書では標準のものを示しています。
	・こういった浚渫は定期的に行っているのか。	・定期的に測量し、必要な水深の確保が困難となった段階で浚渫しています。
	・流下土砂の量は減ってきているのか。	・航路泊地の埋没土砂の量は減っておりません。
2-2	審議 「大船渡港湾口地区防波堤(災害復旧)築造工事(その３)」 ・応札者のほとんどが調査基準価格に近い入札額となっているが、本来、予定価格付近に集中するのではないのか。 　また、これだけの数の業者が参加しているというのは、工事自体は難しい工事ではないのか。	・予定価格は定められている積算基準により算出します。調査基準価格はその予定価格を基に算出します。 　大船渡港では、被災した湾口防波堤を５年で復旧する計画ですが、入札業者側としては新たな現場が出来たということで、今後の発注を期待し、受注意欲が高まったことにより、こうした結果になったものと推測しております。 　また、工事の難易度は、標準的なものです。
2-3	審議 「仙台塩釜港仙台港区外港地区沖防波堤（災害復旧）消波外工事」 ・工事内容は一般的なものと思うが、なぜ、応札者が少ないのか。 ・この工事は、予定価格に近い価格で応札しているが、その理由は何が考えられるか。 ・Ａ等級の業者を入れるというのは考えなかったのか。	・当局の港湾工事だけでなく、他の機関からも多数の工事が発注されている現状からではないかと考えています。 ・本件は仙台港区の災害復旧工事の最後であり、かつ、契約金額が小さいこと、資材・人件費等の上昇が見込まれていた等の理由が考えられます。 ・発注標準からするとＣ等級の業者が対象でありますが、今回はＢ等級の業者も入れております。Ａ等級の業者を入れることは考えておりませんでした。
2-4	審議 「石巻港雲雀野地区防波堤（南）（災害復旧）消波外工事」 ・複数の応札者が予定価格に近い価格で応札しているが、業者から見てうまみのない工事なのか、業者側で受注を控えている状況があったのか。 ・落札率が高いのは何故か。 ・地元の業者でないと参加しにくい工事なのか。 ・先の審議案件に参加していた業者がこの工事にも参加しているが、同時期に工事が行える能力をもっているのか。 ・先の審議案件より参加業者数が増えているのは、金額がより大きいからなのか、撤去工事が追加されているからなのか。	・石巻地区での災害復旧が本格化し、今もかなりの工事量があること及び、資材・人件費等の上昇が見込まれていたことことが要因と見ております。 ・主要な工種である、製作・据付については、高い精度で積算できるためだと考えます。 ・ＪＲ仙石線がまだ全線開通していないため、仙台－石巻間の朝夕の道路渋滞が激しいことも要因の一つではないかと推測しております。 ・会社としてはどちらもやりたい意志はあったのだと思われます。 ・金額の大きいことが影響しているものと考えられます。

	意見・質問	回　　答
2-5	審議 「相馬港水路測量」	
	・入札参加者が少数であった理由は何か。	・被災地での測量業務の発注が多くなっていること、さらに、相馬港の防波堤が全壊しており、静穏でないところで船を走らせて測量するという難しさからと考えられます。
	・時期的には穏やかなのか。	・太平洋側は通年うねりがあること、さらに防波堤がない現状から、穏やかではありません。
	・こういう測量は東京の業者がやるのか。	・本業務は発注標準がＡ等級であることから、結果として東京の業者が入ってきました。
	・船は受注者の自社船なのか。	・現地の船を借り上げて行うのが一般的です。
	・船を借りれないと受注できないということか。	・はい。
2-6	審議 「久慈港みずなぎ修理工事」	
	・漁協と船舶修理工事を契約することに問題はないのか。	・この漁協の造船所は運輸局に造船所として届出し、登録されております。また、国交省の競争参加資格も有しており、問題はありません。